

とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報（23年8月号）vol.47

◆ いちご王国グランプリ表彰式・推進会議開催

7月12日(火)宇都宮市内で、第5回いちご王国グランプリ表彰式を開催した。今回出展された11点のうち、真岡市の高木正夫さん・公子さんご夫妻が大賞に輝いた。

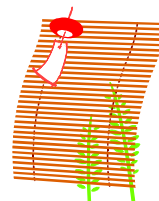
また、いちご王国推進会議と若手生産者セミナーを同時開催し、歴代の大会受賞者を招いて、高収益のいちご経営に向けてパネルディスカッションを行った。参加した若手生産者は興味深く聴いていた。



高木正夫さん・公子さん

◆ 「食べて元気だ！栃木産」とちぎの地産地消フェア

～真夏のフードフェスティバル～



7月14日(木)～20日(水)東武百貨店大田原店、7月20日(水)～27日(水)同宇都宮店において、“「食べて元気だ！栃木産」とちぎの地産地消フェア”と題し、フードフェスティバル「地産地消フェア」を開催した。

フェアでは本県産の主要農産物を集め、旬の巨峰などの青果物を中心に販売を行った。

また、17日(日)には大田原店、23日(日)には宇都宮店で、フレッシュメイトによる試食販売を行い、県内の消費者に県産農産物の認知度向上とPR図った。

◆ 栃木県花き生産者大会開催

7月22日(金)宇都宮市で、生産者、JA、関係者140名が参加し、栃木県花き生産者大会を開催した。

大会では各種共進会の表彰式等を行った。

また、株式会社誠和の営業本部主幹研究員、齋藤章氏により、「施設栽培における光合成を重視した環境制御」に関する講演が行われた。

さらに、日本花普及センター事務局長の西岸芳雄氏は「生販連携による消費者が求める花き商品情報」と題し、“花の品種により日持ちに差がある、消費者や実需者の求める花き商品の生産を。”と呼びかけた。

生産・流通・技術を学び「売れるとちぎの花づくり」を目指していくことを全員で確認した。



◆ 梨若手生産者現地セミナー開催

7月26日(火)、次世代を担う経営者の育成と、県内生産者の交流を深めることを目的として、若手の梨生産者を対象に現地セミナーを開催した。

各JA部会・関係者67名が参加し、市貝町・高根沢町・大田原市の3箇所の圃場で、栽培技術や産地情報などの意見交換会を行った。



高根沢町圃場

◆ 「とちぎの地産地消推進店」登録制度スタート

「とちぎの地産地消推進店」について、平成18年度から行ってきた認定制度を見直し、8月1日より登録制度をスタートした。



県産農産物の使用に関する基準などは従来どおり、より幅広い情報発信を行うため、協会ホームページに加え、検索サイト「栃ナビ！」を活用しWEBによるPRの強化を図る。

これに伴い、7月より「栃ナビ！」に、“とちぎの旬の食材講座”を開設した。季節ごとに、栃木の食材やレシピを紹介し、県産農産物の認知度向上と利用促進を図っていく。

栃ナビ！ <http://www.tochinavi.net/>



今後の予定

8月10日(水)

こんにゃく作況調査(鹿沼・茂木)

8月11日(木)～13日(土)

Food Expo2011(香港)

8月30日(火)～31日(水)

全国野菜園芸技術研究会静岡県大会

(社)とちぎ農産物マーケティング協会(平成23年8月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>